

あいちの多文化共生社会づくり

外国人の子どもたちのための

日本語学習支援基金事業

平成20～27年度実施分



平成28年3月末現在

愛知県 ・ 公益財団法人 愛知県国際交流協会

ご寄付の受入状況

146件 2億4,508万9,332円

(平成27年3月31日現在)

(寄付申出額 146件 2億4,508万9,332円) (同)

○ 寄付者の皆様 (氏名・企業名の公表にご了解いただいた方のみ記載・五十音順)

個人

磯村有澄 様、稲葉忠雄 様、加藤 勇 様、河合 泉 様、小林孝子 様、
西本 秀 様、渡辺源吾 様 はじめ、のべ87名様

企業・団体

愛鋼株式会社 様、アイシン精機株式会社 様、愛知製鋼株式会社 様、
株式会社安藤七宝店 様、株式会社五十鈴製作所 様、伊勢湾海運株式会社 様、
株式会社江口巖商店 様、岡崎信用金庫 様、川北電気工業株式会社 様、
株式会社川瀬電気工業所 様、株式会社キクテック 様、
KTX株式会社(旧江南特殊産業株式会社)様、ササキセルム株式会社 様、
株式会社ジーエスエレテック 様、株式会社ジェイテクト 様、
多文化共生リソースセンター東海 様、玉野総合コンサルタント株式会社 様、
中菱エンジニアリング株式会社 様、株式会社デンソー 様、東海設備工業株式会社 様、
東邦ガス株式会社 様、豊島株式会社 様、豊田合成株式会社 様、
トヨタ自動車株式会社 様、株式会社豊田自動織機 様、トヨタ車体株式会社 様、
豊田通商株式会社 様、トヨタ紡織株式会社 様、豊橋信用金庫 様、
株式会社ナゴヤキャッスル 様、名古屋鉄道株式会社 様、西尾市立西野町小学校 様、
ピープルスタッフ株式会社 様、東日本建設業保証株式会社 様、福玉株式会社 様、
藤市酒造株式会社 様、株式会社フジトランスコーポレーション 様、
ペルリッツジャパン株式会社 様、豊栄ビル株式会社 様、ホンダロジコム株式会社 様、
丸徳産業株式会社 様、株式会社三河機工 様、三井物産株式会社 様、
株式会社三菱東京UFJ銀行 様、名港海運株式会社 様、矢野悦子行政書士事務所 様、
ユタカコーポレーション株式会社 様、ユタカ産業株式会社 様、
ライオンズクラブ 334A 地区2R 様、リンナイ株式会社 様 はじめ、59企業・団体様

日本語学習支援基金事業の概要

1 外国人児童生徒の支援

地域の日本語教室への支援

外国人児童生徒に日本語を指導する日本語教室に対し、教室の運営に必要な経費の一部を助成しました。

日本語能力試験受験料の助成

外国人児童生徒が「日本語能力試験」を受験して合格した場合に、その受験料相当額を助成しました。

2 外国人学校への支援

日本語指導者の派遣等

外国人学校に対し、日本語教師を派遣または外国人学校が雇用する日本語指導者の経費の一部を助成しました。（派遣はH24まで）

日本語学習教材の給付

外国人学校が希望する日本語学習のための教材を給付しました。

物品・機器の提供

外国人学校が希望する物品や機器（OA機器、机、椅子等）を皆様から無償で提供していただけるよう橋渡しを行いました。

3 その他事業

日本語ボランティアの養成

外国人児童生徒向け日本語教室の新規立ち上げや拡充を目的として、日本語ボランティアの養成を行いました。

進路説明会の実施

外国人児童生徒及び保護者の日本の教育制度等についての理解を深めるため、進路説明会を行いました。（H24から実施）

【平成27年度に助成した日本語教室・外国人学校】

名古屋市 7教室

碧南市 9教室・1校

常滑市 1教室

豊明市 4教室

豊橋市 11教室

刈谷市 1教室

江南市 2教室

北名古屋市 1教室

一宮市 2教室

豊田市 4教室・2校

小牧市 7教室

みよし市 1教室

瀬戸市 4教室・1校

安城市 1教室・1校

稲沢市 2教室

東浦町 1教室

半田市 1教室

西尾市 3教室

新城市 1教室

武豊町 1校

春日井市 1教室

蒲郡市 1教室

大府市 1教室

25市町
74教室・6校

豊川市 3教室

犬山市 3教室

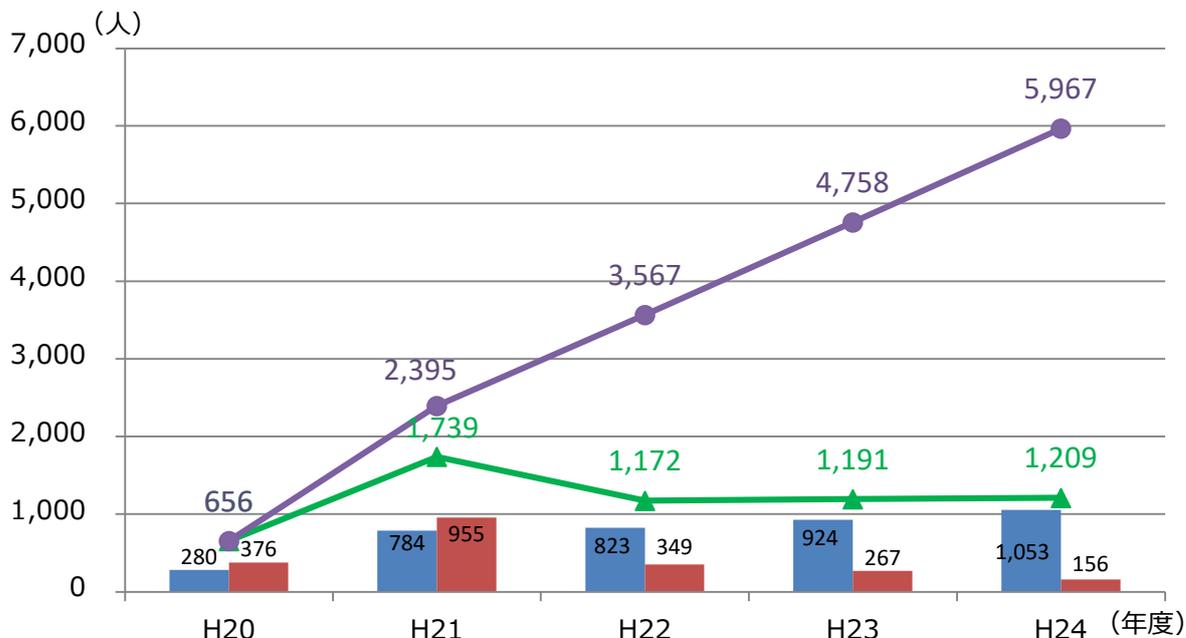
知多市 2教室

8年間の成果

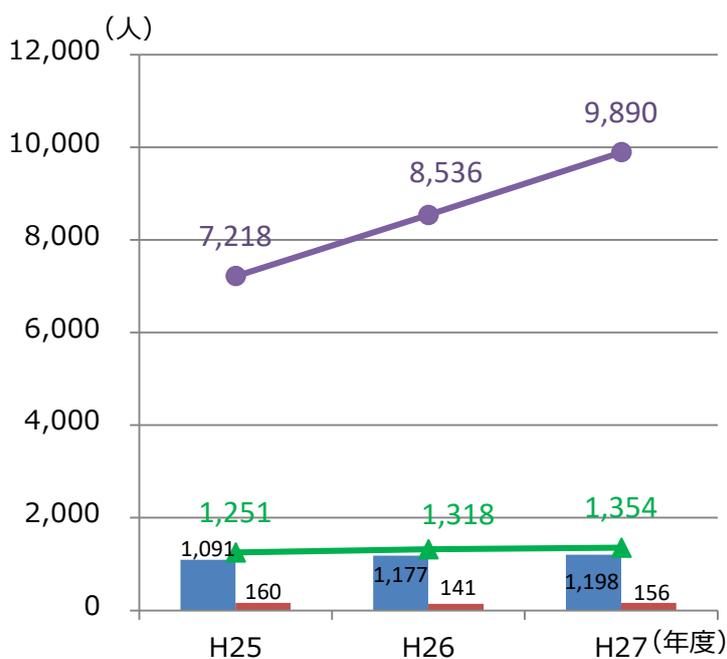
延べ約10,000人の外国人児童生徒が、基金の支援を受けた日本語教室や外国人学校で日本語を学習しました。

◆ 当初の5年間（H20～24）

※全認定団体



◆ 延長後の3年間（H25～27）



■ 日本語教室の学習者 ■ 外国人学校の学習者
 ▲ 合計 ● 累計

○ 日本語教室の学習者数	H20～24	3, 8 6 4 人
	H25～27	3, 4 6 6 人
	合計	7, 3 3 0 人
○ 外国人学校の学習者数	H20～24	2, 1 0 3 人
	H25～27	4 5 7 人
	合計	2, 5 6 0 人
○ 学習者総数	H20～24	5, 9 6 7 人
	H25～27	3, 9 2 3 人
	合計	9, 8 9 0 人

※ 延長後は、助成対象年齢を小・中学生から就学1年前～高校生に拡大しました。

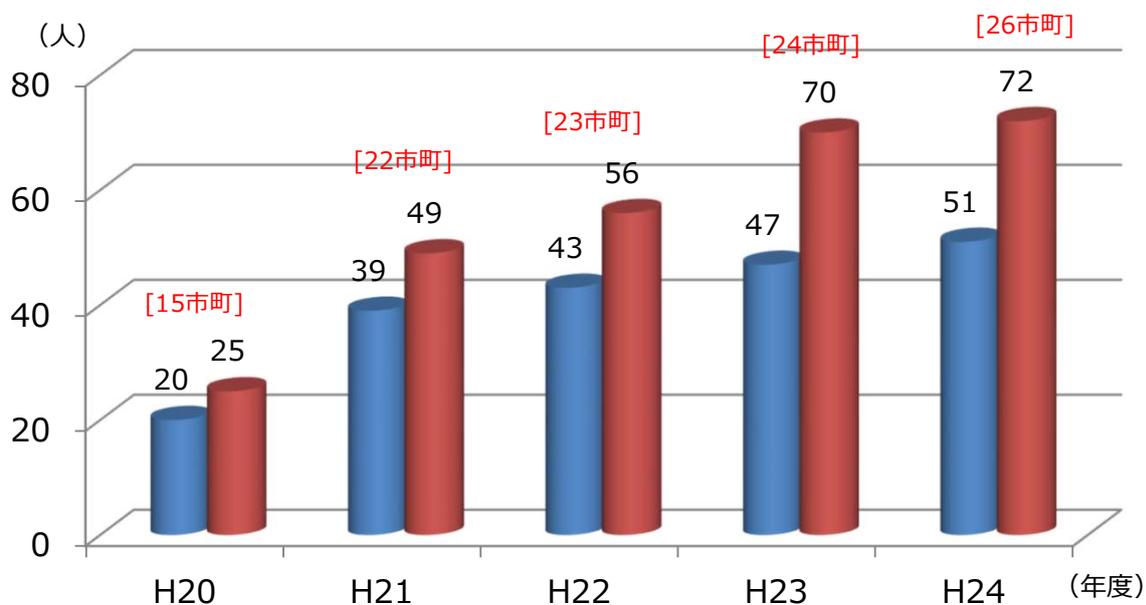
年度	H25	H26	H27
就学1年前	1人	16人	11人
高校生	49人	122人	115人

8年間の成果

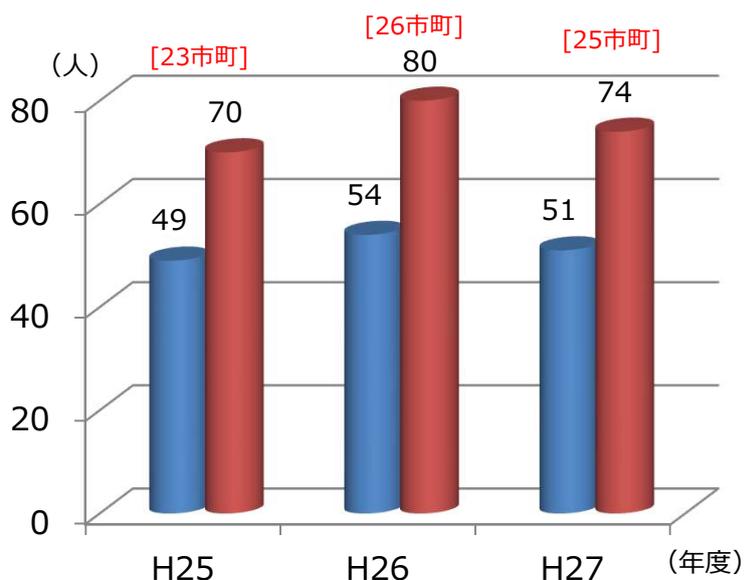
子ども向け日本語教室が約3倍に増加しました。

◆ 当初の5年間（H20～24）

※全認定団体及び教室



◆ 延長後の3年間（H25～27）



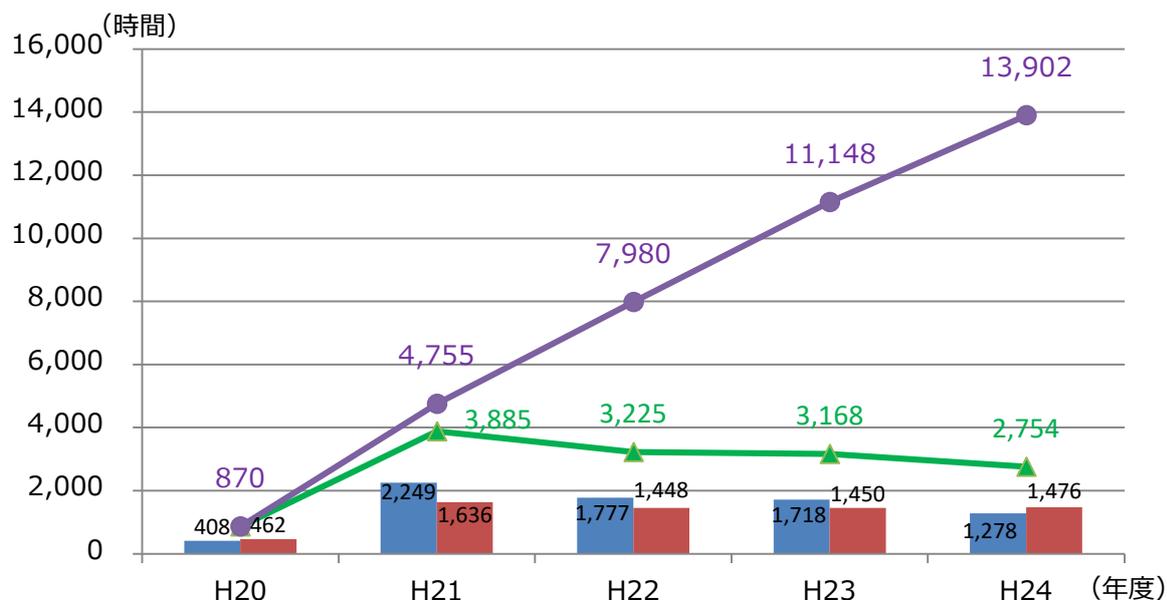
■ 団体数 ■ 教室数



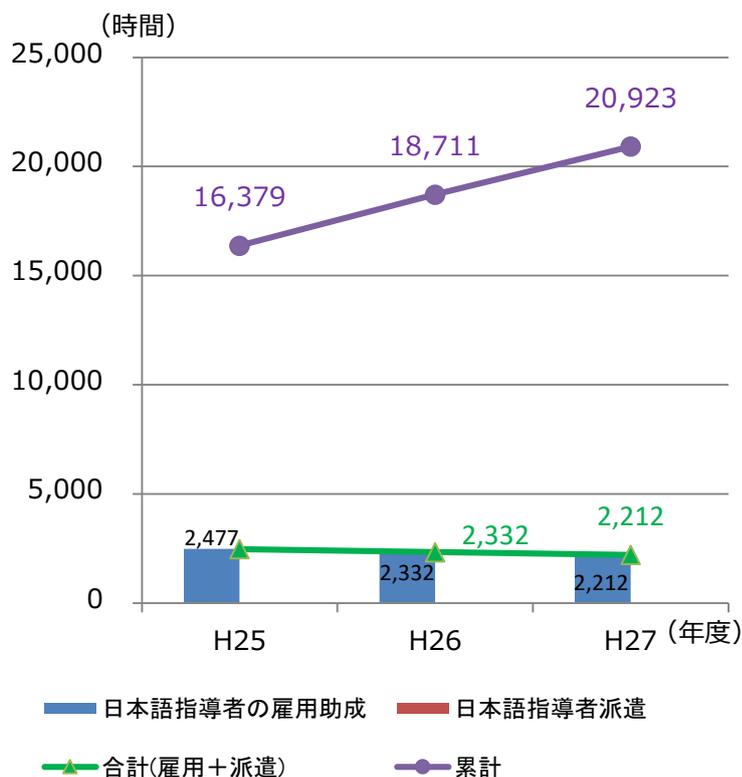
8年間の成果

外国人学校の子どもたちに約20,000時間の日本語の学習時間を提供しました。

◆ 当初の5年間（H20～24）



◆ 延長後の3年間（H25～27）



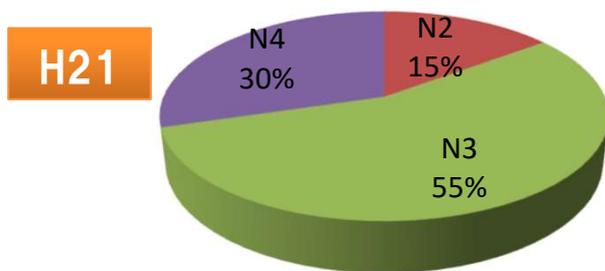
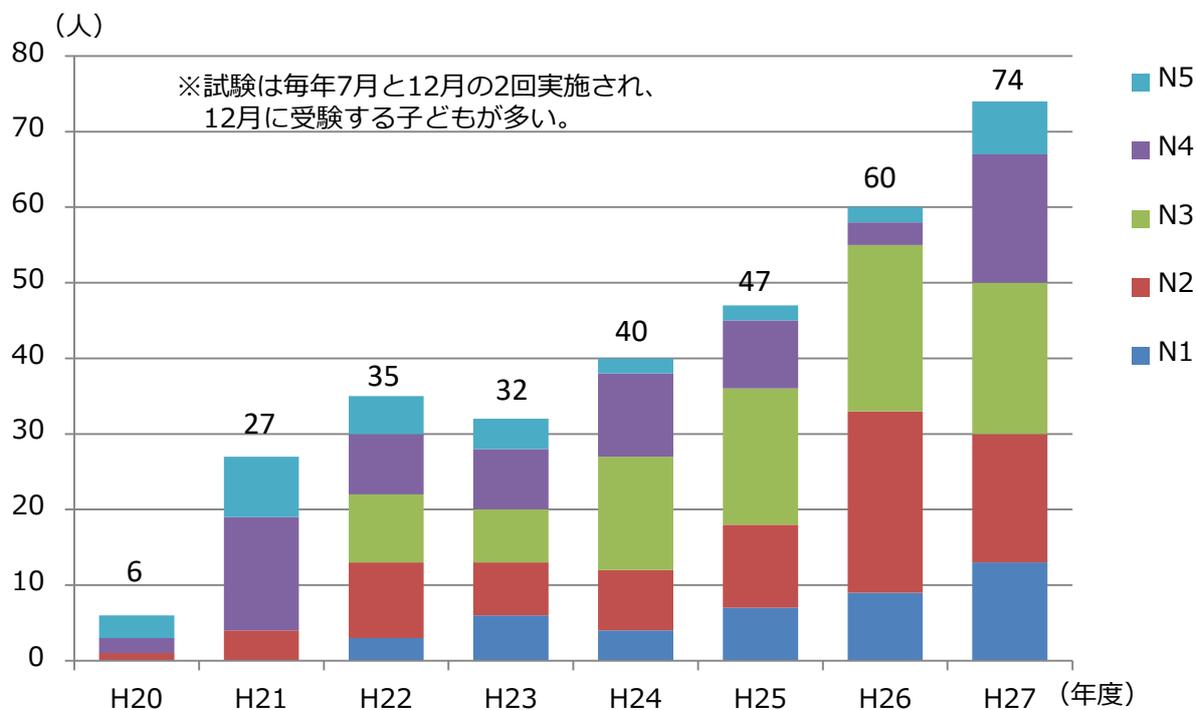
○ 提供した学習時間数
 H20～24 13,902時間
 H25～27 7,021時間
 合計 20,923時間

○ 助成した学校数

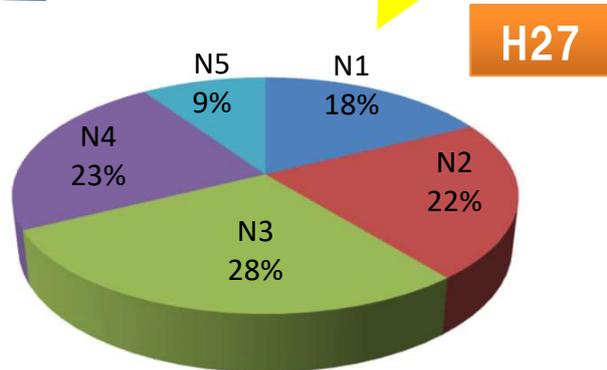
年度	指導者派遣	雇用助成	計
H20	3	3	6
H21	6	10	16
H22	4	7	11
H23	5	6	11
H24	4	6	10
H25	—	8	8
H26	—	8	8
H27	—	6	6

8年間の成果

助成対象日本語教室で学習する269人の子どもたちが日本語能力試験に合格しました。



N1・N2など、
上級レベルの
合格者が増加



○ 能力試験合格者数

H20～24	140人
H25～27	181人
合計	321人

8年間の成果

外国につながる子どもと保護者のための進路説明会を開催し、高校進学や将来のことをともに考える機会を提供しました。

進路説明会開催地 及び参加者数

年度	開催地	開催日	参加者数
H24	刈谷市	11月17日(土)	51人
	知多市	11月24日(土)	41人
H25	知立市	11月10日(日)	22人
H26	知多市	8月17日(日)	36人
	刈谷市	8月23日(土)	42人
	知立市	12月14日(日)	41人
H27	江南市	7月23日(木)	63人
	豊川市	10月10日(土)	51人
	豊明市	10月18日(土)	23人

主なプログラム

- ◆ 高校進学に関する説明
- ◆ 先輩たちからの体験談
- ◆ 将来を考えるワークショップ
(子ども向け)



8年間の成果

助成団体から寄せられたおもな意見

①日本語教室

- ◆ 基金のおかげで教室を継続できている。本当に感謝している。スタッフも確保でき、手厚い指導ができている。
- ◆ 基金によって教室の立ち上げが実現できた。
- ◆ これまで地域となかなか接触のなかった子どもたちが、近所のおばちゃんやおじさんたちと日本語で話ができるようになっていたので、そういう意味でもこの事業の意味は大きい。
- ◆ 日本語能力試験受験料の助成は、子どものモチベーションや成功体験を与えるきっかけにもなっている。こうした事業は継続してほしい。
- ◆ 助成金がなくなると困ることの一つが会場費。現在は県営住宅の集会所を使っているが、無料で利用させてもらうのは難しい。
- ◆ 教員を目指す学生にボランティアに来てもらい、外国籍児童生徒の現状を知ってから先生になってほしいと思っていたが、助成金のおかげで彼らに交通費を出して、実際に来てもらうことができた。
- ◆ 「愛知県国際交流協会 認定団体」というお墨付きが、ボランティア教室の運営上、必要だと感じるがあった。社会的な信用度が上がった。
- ◆ 助成金のおかげで、子どもたちに必要な教材をたくさん揃えることができた。
- ◆ 事務局にいろいろと相談にのってもらえて、とても助かった。これからも情報提供をお願いしたい。
- ◆ 子どもが将来社会人になって日本で働くためには、日本語学習支援は重要なものなので、助成金は続けてほしい。

②外国人学校

- ◆ 子どもたちにとって大変有益であり、子どもも授業を楽しみにしている。
- ◆ 企業が外国の子どもたちのために寄付をしてくれたことに感謝している。



日本語教室で学ぶ子供たち



外国人学校で学ぶ子供たち

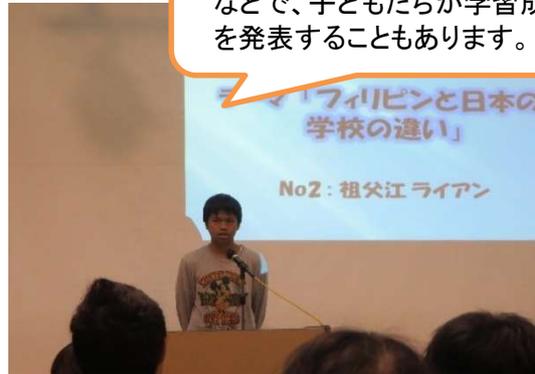
8年間の成果

子どもたちの学習の様子

子どもの年齢や在日年数、母語・母文化、日本語能力などにより、学習内容が異なります。教室では、一人ひとりのニーズに合わせた学習支援を行っています。



教室主催のスピーチコンテストなどで、子どもたちが学習成果を発表することもあります。



学習方法は教室によって様々。絵カードや実物を使ったり、体を動かしたりしながら、新しい言葉を学んだりもします。



教室活動では、お正月など日本の文化・風習を体験して学んだり、クリスマスなどの季節のイベントを楽しんだりもします。



今後に向けて

当基金では、この8年間で多くの子どもたちに日本語を学ぶ機会と居場所を提供してきました。
しかし、まだまだ日本語学習の支援が必要とされています。

□ 地域のNPO等による日本語教育の役割の拡大

愛知県は「日本語指導が必要な外国人児童生徒数」が全国一であり、今後も更なる増加が見込まれています。また、中国やフィリピンなどアジア系の子どもが増加といった国籍の変化や、集住地域以外への拡大など新たな状況が加わる中、学校教育はもとより、これまで以上に地域のNPO等による日本語学習の支援が必要です。

□ 未来への投資

外国人の子どもたちの日本語学習支援の推進は、地域の担い手を育て、豊かで活力ある地域づくりにつながります。

日本語学習支援基金を再造成し、 5年間（平成28～32年度）延長します。

◆日本語教室への支援

(1) 日本語教室運営への支援

外国人児童生徒の日本語を指導する日本語教室に対し、教室の運営に必要な経費の一部を助成します。

(2) 日本語能力試験受験料の助成

(1)の日本語教室で学習する外国人児童生徒が「日本語能力試験」に合格した場合、その受験料相当額を助成します。

◆外国人学校への支援

(1) 日本語指導者の雇用助成

外国人学校が雇用する日本語指導者の経費の一部を助成します。

(2) 日本語学習教材給付事業

(1)の外国人学校が希望する日本語学習教材を給付します。

(3) 日本語能力試験受験料の助成

(1)の外国人学校で学習する外国人児童生徒が「日本語能力試験」に合格した場合、その受験料相当額を助成します。

◆その他事業

基金事業について、寄付者の方々や県民の皆様幅広く周知する広報活動などを行います。